

公共下水道事業会計

1. 事業の概況

平成24年度上半期における下水道使用戸数は3,706戸、有収水量は471千 m^3 （1日平均2,576 m^3 ）となりました。また、処理水量は562千 m^3 （1日平均3,073 m^3 ）となりました。

2. 経理の状況

（単位：千円）

ア 損益計算書（平成24年4月1日から平成24年9月30日までの収支状況）

1 営業収益	71,906	3 営業外収益	160,000
2 営業費用	135,582	4 営業外費用	46,845
営業損失	63,676	営業外利益	113,155

当期（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）純利益 49,479

イ 貸借対照表（平成24年9月30日時点）

資産の部		負債の部		資本の部	
1 固定資産	14,172,463	3 固定負債	27,537	5 資本金	5,028,427
2 流動資産	417,688	4 流動負債	8,099	6 剰余金	9,526,088
資産合	14,590,151	負債合計	35,636	資本合計	14,554,515
				負債資本合計	14,590,151

【平成24年9月30日現在企業債残高 4,192,506千円】

美祢市土地開発公社の経営状況

1. 事業の概要

土地開発公社は、良質で低廉な宅地の供給を目的としており、人口定住対策の一環として分譲用地の販売促進を行っています。平成24年度上半期の事業内容として、住宅用地2区画（美祢2）を12,033千円で売却処分しています。

分譲概要（平成24年9月30日現在）

	計画区画 a	分譲区画	契約区画 b	契約率 b/a
一般住宅	938	800	596	63.5%
美祢住宅団地（来福台）	886	748	553	62.4%
巨住宅団地（りんどうの丘）	34	34	30	88.2%
長田住宅団地	15	15	10	66.7%
湯の口住宅団地	3	3	3	100.0%
集合住宅	96	96	96	100.0%
美祢住宅団地（来福台）	96	96	96	100.0%
計	1,034	896	692	66.9%

2. 経理の状況

（単位：千円）

ア 損益計算書（平成24年4月1日から平成24年9月30日までの収支状況）

1 事業収益	12,033	4 事業外収益	20,050
2 事業原価	12,033	5 事業外費用	7,992
3 販売費及び一般管理費	1,975	事業外利益	12,058
事業損失	1,975		

当期（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）純利益 10,083

イ 貸借対照表（平成24年9月30日時点）

資産の部		負債の部		資本の部	
1 固定資産	57	3 固定負債	2,059,866	5 資本金	10,000
2 流動資産	1,910,618	4 流動負債	5,262	6 欠損金	164,453
資産合計	1,910,675	負債合計	2,065,128	資本合計	▲ 154,453
				負債資本合計	1,910,675

美祢観光開発株式会社の経営状況

1. 事業の概況

長引く景気低迷による個人消費の減少や、買い控え傾向などにより、売上高は伸び悩んでいます。市内外で開催されるイベントへの参加や出張販売、情報誌、テレビ・ラジオなどでのPR活動、また、他団体との連携による入浴料金割引サービスの実施、地域特産品を食材にしてのグルメイベントへの協力を行う一方で、仕入れや一般管理費、各事業部門間での応援体制の確立などによる人件費などの削減に努めましたが、当期純利益を計上することができませんでした。

今後においても、再度、経営改善計画の見直しを行い、従業員一人一人の更なる意識向上・改革に努めるとともに、他団体等との事業連携に積極的に努めてまいります。

2. 経理の状況

(単位：千円)

ア 損益計算書（平成24年4月1日から平成24年9月30日までの収支状況）

1 売上高	104,385	4 営業外収益	435
2 売上原価	59,789	5 営業外費用	149
売上利益	44,596	営業外利益	286
3 販売費及び一般管理費	47,884	法人税等	2
営業損失	3,288		

当期（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）純損失 3,004

イ 貸借対照表（平成24年9月30日時点）

資産の部		負債の部		純資産の部	
1 固定資産	1,291	3 固定負債	20,000	5 資本金	30,000
2 流動資産	48,564	4 流動負債	23,276	6 利益剰余金	▲ 23,421
資産合計	49,855	負債合計	43,276	純資産合計	6,579
				負債純資産合計	49,855

美祢農林開発株式会社の経営状況

1. 事業の概況

竹箬製造事業については、安定的な生産を行うことができ、また、竹材取扱規格も製造時のロスを軽減することから1m規格を中止し2mのみの取扱いにするなど製造の効率化に努めました。

また、新商品として「竹箬物語」5膳入りの販売を開始し、これを主力商品として位置付け販路拡大に努めました。農林産物製造事業については、主力の竹の子水煮の原材料について、出荷者の協力により過去最高の47トン確保することができました。

また、好評を得ている「竹の子水煮」「大豆水煮」、新商品として販売を開始した「ごま高菜（漬物）」は、県内の学校給食用食材取扱業者と密に連携を図り、県内の小中学校での利用拡大に努めました。販路拡大については、営業強化月間等を設け、集中的に取り組んだことで、新たな販路も開拓することができました。

今後においても、市内外へのイベント参加や、更なる事業PR、また地域農林産物を用いた新たな製品開発や販売を行い、併せて既存製品の販路拡大にも努めることとしています。

2. 経理の状況

ア 損益計算書（平成24年4月1日から平成24年9月30日までの収支状況）

(単位：千円)

1 売上高	4,950	4 営業外収益	10,077
2 売上原価	12,219	5 営業外費用	450
売上損失	7,269	営業外利益	9,627
3 販売費及び一般管理費	3,966		
営業損失	11,235		

当期（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）純損失 1,608

イ 貸借対照表（平成24年9月30日時点）

資産の部		負債の部		純資産の部	
1 固定資産	2,319	3 流動負債	2,428	4 資本金	20,000
2 流動資産	16,153			5 利益剰余金	▲ 3,956
資産合計	18,472	負債合計	2,428	純資産合計	16,044
				負債純資産合計	18,472